

物療校友会 平成 26 年度 定期総会

日時：2015. 06. 13（土） 15：00～

会場：難波御堂筋ホール

〈 総会議事 〉

- 一. 平成 26 年度 事業報告
- 一. 平成 26 年度 決算報告
- 一. 平成 26 年度 監査報告
- 一. 会則改正（案）
- 一. 平成 27 年度 事業計画（案）
- 一. 平成 27 年度 予算（案）
- 一. その他

上記の日時、会場にて物療校友会 平成 26 年度定期総会が開催されました。平成 26 年度の事業・決算報告、平成 27 年度における事業計画案・予算案について決議が行われました。

なかでも、会則改定案の校友会 事務所開設場所の改定や運営資金、現在の資産合計、本年度の経常収益から本年度の事業計画案について多くの意見が交わされたが賛成多数により可決されました。



岡崎泰三氏が議長として、喜田真一郎氏が書記として選任され過密スケジュールのなか総会進行・協議が行われた。



今後の校友会の存続には、人材・資産の確保が重要であり本年度発足された物療大学 同窓会参加者の皆様、そして現在既にご活躍の皆様にたいして有益な情報をいかに発信し、校友会の必要性・存在をいかにして認識・活用してもらえるかであると考えます。

現在、物療校友会は変革の末期であると言え、これまで以上に効率的にかつ明確にアクションを起こし、次世代、そして次の世代へと躍進し続けるために必要な礎、組織的構図確立していく必要があります。

諸先生方を始め、これから大きく羽ばたかれる皆様に大きな感謝と共に誠実であたたかいご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。



総会終了後全参加者の記念写真

2015. 06. 14

(文責) 大谷 一弘

◎会報「物療校友会」No.24 の追加ならびに訂正について

P2 挨拶の文章に関して

7行目 誤：事務所を明け渡さなければならない事態が生じ

正：事務所を返却しなければならない事態が生じ

追加：返却しなければならない事態とは。

返却いたしました校友会事務所を含む物療学園の建物を

学科増設のために建て替える事態が生じたためです。

12行目 誤：「学士授与式」

正：「学位記授与式」

◎追記事項

P2 物療校友会広報部からのお知らせの文章に関して

5行目 本来であれば、一つの会として当会も吸収合併されるべきところではありますが、不本意ながら二つの会として樹立してしまいました。今後の我々の目標は、技師学校、専門学校そして大学それぞれのOB会が垣根を無くし、一致団結し、一つのOB会になることだと思います。

平成27年6月23日

物療校友会 会長 辻 清文

「一つのOB会」を目指して

大学生が入学されて卒業されるまで、校友会としてのPR活動が思うように出来ませんでした。従いまして、大学卒業生は独自の同窓会を作られました。この4年間にPR活動が出来なかった校友会の怠慢であります。深くお詫び申し上げます。

ついては、今総会において、「一つのOB会」に成るために、第7号議案にて審議を行い、大学同窓会に吸収合併して頂けるよう働きかけることを決議致しました。

先ず、大学同窓会役員の方々と校友会役員とがお話しをする機会を設けて頂き、さらに、合同の勉強会等を開催しお互いの交流を図る方向で進めていくこととなりました。

以上、総会審議内容をご報告いたします。

平成27年6月23日

物療校友会 会長 辻 清文